



木曽林務課だより

4月

サクラなどの春の花々が、山に里に咲き競う季節になりました。今年は、新型コロナウイルスへの対応で人込みを避けるように求められる中、身体を動かしに山菜採り等に山へと考えられている皆さんに気にかけていただきたいお知らせです。

冬眠明けのクマにご注意ください!!

春は、ツキノワグマの冬眠が明けて動き回り、不慮の遭遇の危険性が高まります。

クマの痕跡があったら近づかない。

春、クマは草や木の芽を好んで食べ、特に雪解けの早い里や沢筋など標高の低いところにクマが集まってくる時期です。

山中はクマの生息地です。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

「明け方」と「夕方」のクマの活動が活発な時間帯は避け、鈴など音の出る物を携帯して、音を出しながら行動しましょう。

子グマを見かけたら、そのままそっと立ち去りましょう（親子クマに注意）

春は、雌グマが冬の間に出産した子グマを1～2頭連れている可能性があります。こうした雌グマは、子グマを守るために、神経質になっています。

山菜採り等は周囲の確認をしながら。

山菜類は、クマにとっても重要な食べ物で、山菜のある場所には、クマがいる可能性があります。

山菜取り等に熱中すると周辺への注意力が散漫になること、溪流の水音などでラジオや鈴の音がクマに届かない場合があることから、周囲に十分気をつけましょう。

犬は連れて行かないで

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとします。しかし、犬と一緒にいる場合には、犬に吠えられるなどして、人へ攻撃をする場合があります。犬を連れて山中へ入るのはやめましょう。

**クマとのバッタリ遭遇が一番危険です。
まずはクマに人の存在を知らせましょう。**

